

定即ち二親を呼來りて之に問けるハ此人ハ善にて生じと言どこの爾曹の子なるか今ひかにして見
 てもを得たる守二親かれらに答けるハ此ハ我子なるを知ら然言今何れして自明に爲
 しか我儕とれを知手亦その目を啓しハ誦なる手を知手彼ハ年長なり彼に問ふ彼みづから言べし二親の
 如此いひしハニダヤ人を懼して因るハイエスをキリストと言明す者おらば會堂より出すべしニダヤ人
 たがひに認定られた也二親の彼ハ年長なり彼亦問よ言しハ此故なり善なりし者を復よびて曰ける
 ハ善を神に歸せよ我儕ハ彼人の罪人なるを知らかれ答けるハ罪人なるや否われ之を知手我ハ善なりし
 が今自明なれる此一事を知爾等また曰けるハ彼ハ爾に何を行しや如何して爾の目を啓しや答ける
 ハ我すでに爾曹に言しに爾曹さかすか故入れしび聞んとするか爾曹も其弟子に爲らんと欲すやかれら詭
 ち曰けるハ爾ハ其人の弟子われらハモ一也其弟子あり神のモ一也と語し言ハ我儕これ然此ハの何
 處より來れる手を我儕えらす其人たへけるハ此ハ奇事なり我すでに我目を啓しに其何處より來れ
 るを爾曹えらすと曰神ハ罪人に聽す然神を敬ひて其旨に遵入者ハに聽たまふと我儕ハ知世の元始
 より以來つきたる警者の目を啓し人わを問すも此ハ神より出すハ何事をも行得ざるべし
 彼等こたへて曰けるハ爾ハ盡く罪孽に生じ者なると反て我儕を教るか途に彼を逐出せり彼等ハ逐出し
 してとを問イエス等て之に還ひけるハ爾神の子を信する乎答て曰けるハ主よ彼とて我信すべき者
 ハ誰なるやイエス曰けるハ爾等にて彼をみる今なちと言者ハ爾なり主よ我信すと曰て彼を辨せ
 りイエス曰けるハ我辨せんと爲に世に歸る期ハ見ざる者としてみえ見る者を反て警と爲しむイエス
 と偕に居しバリサヤの人の言を聞て彼に曰けるハ我儕も警なる乎イエス彼等に曰けるハ爾曹も警
 と警に居し

ノ
 九卷十節
 九卷十一節
 九卷十二節
 九卷十三節
 九卷十四節
 九卷十五節
 九卷十六節
 九卷十七節
 九卷十八節
 九卷十九節
 九卷二十節
 九卷二十一節
 九卷二十二節
 九卷二十三節
 九卷二十四節
 九卷二十五節
 九卷二十六節
 九卷二十七節
 九卷二十八節
 九卷二十九節
 九卷三十節
 九卷三十一節
 九卷三十二節
 九卷三十三節
 九卷三十四節
 九卷三十五節
 九卷三十六節
 九卷三十七節
 九卷三十八節
 九卷三十九節
 九卷四十節
 九卷四十一節
 九卷四十二節
 九卷四十三節
 九卷四十四節
 九卷四十五節
 九卷四十六節
 九卷四十七節
 九卷四十八節
 九卷四十九節
 九卷五十節
 九卷五十一節
 九卷五十二節
 九卷五十三節
 九卷五十四節
 九卷五十五節
 九卷五十六節
 九卷五十七節
 九卷五十八節
 九卷五十九節
 九卷六十節
 九卷六十一節
 九卷六十二節
 九卷六十三節
 九卷六十四節
 九卷六十五節
 九卷六十六節
 九卷六十七節
 九卷六十八節
 九卷六十九節
 九卷七十節
 九卷七十一節
 九卷七十二節
 九卷七十三節
 九卷七十四節
 九卷七十五節
 九卷七十六節
 九卷七十七節
 九卷七十八節
 九卷七十九節
 九卷八十節
 九卷八十一節
 九卷八十二節
 九卷八十三節
 九卷八十四節
 九卷八十五節
 九卷八十六節
 九卷八十七節
 九卷八十八節
 九卷八十九節
 九卷九十節
 九卷九十一節
 九卷九十二節
 九卷九十三節
 九卷九十四節
 九卷九十五節
 九卷九十六節
 九卷九十七節
 九卷九十八節
 九卷九十九節
 九卷一百節

ならバ罪なかるべし然と今われら見言しに因て爾曹の罪ハ存れり
 爾曹に實に爾曹に告ハ年半ハ入カ門よりせずして他より歸る者ハ竊賊なり強盜なり門より入者
 ハ其手の執者なり門守り彼の爲を啓き羊ハの聲を聽かれ己の羊の名を呼て之を引出す彼等の羊を
 引出すと先に行ハ羊かれの聲を聽て之を欲し羊ハ別人亦徳とす反て遵ハ別人の聲を聽ざれ也
 イエス彼等に此儕を言と彼等ハの語れる所いかなる意かを知ざりき是故ハイエス復かれらに曰け
 るハ爾に實カ爾曹に告ハ我ハ即ち羊の門なり凡て我より先ハ來し者ハ竊賊なり強盜なり羊の聲を聽
 ざりき我ハ門なり若人われより入バ救れ且出入を欲して草を得べし竊賊の來るハ盜んとし殺さんと
 し滅さんとするの他亦我きたるハ羊をして生を得かつ豊ならしめハ爲なり我ハ善收者なり善收者
 ハ羊の爲に命を捐收者にわらず己ハ羊を有す只やとばれて羊を守る者ハ狼の來るを見れば羊を棄て
 カつ狼羊を奪て之を散す雇工の逃るハ怖れし者なれば其手を願ざるも因てなり我ハ善收者なり曰
 の羊を聽た己の羊に聽る父われを聽てとく我も父を聽るわれ羊の爲ハ命を捐我ハ此年おわらざる
 別の羊を有り彼等をも引來らん彼等が聲を聽カ遠くハ一の罪一の牧者となるべしわが父われを愛す蓋
 われ再び命を得んが爲に命を捐るが故なり我より之を奪ハ者なし我みづから之を捐るなり我これを捐
 るの權能わり亦よく之を奪の權能わり我父より我この命令を受たり倍この言に因て復ニダヤ人わら
 ひ別たり其中なる多の人のいひけるハ見に憑て狂ハ者なるに何分彼に聽や又我人いひけるハ是鬼お憑
 れし者の言に非ハ我儕の目を啓るとを能せん乎三答のこつ修殿儕の時イエス殿のシロモン
 の聲をわけるおニダヤ人かれを環圍みて曰けるハ我儕を幾時まで疑はするや爾もしキリスニならバ
 自一至二十四節

九卷五十一節
 九卷五十二節
 九卷五十三節
 九卷五十四節
 九卷五十五節
 九卷五十六節
 九卷五十七節
 九卷五十八節
 九卷五十九節
 九卷六十節
 九卷六十一節
 九卷六十二節
 九卷六十三節
 九卷六十四節
 九卷六十五節
 九卷六十六節
 九卷六十七節
 九卷六十八節
 九卷六十九節
 九卷七十節
 九卷七十一節
 九卷七十二節
 九卷七十三節
 九卷七十四節
 九卷七十五節
 九卷七十六節
 九卷七十七節
 九卷七十八節
 九卷七十九節
 九卷八十節
 九卷八十一節
 九卷八十二節
 九卷八十三節
 九卷八十四節
 九卷八十五節
 九卷八十六節
 九卷八十七節
 九卷八十八節
 九卷八十九節
 九卷九十節
 九卷九十一節
 九卷九十二節
 九卷九十三節
 九卷九十四節
 九卷九十五節
 九卷九十六節
 九卷九十七節
 九卷九十八節
 九卷九十九節
 九卷一百節

